

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。  
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。  
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。  
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。



News Letter

2023年1月4月号 発行: 常総生協広報G



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

# 謹賀新年

明けましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策による行動制限が緩和され、日常においても、コロナ禍以前の生活様式に戻りつつあります。2021年春にご協力いただいた、新型コロナウイルス実態調査において、「外出・行動制限がなくなった後にしたいこと」の質問を覚えていらっしゃるでしょうか。



「旅行」「友人・親族に会う」「外食・会食」「帰省」「マスク無しの生活」「自由な生活」などの回答が寄せられました。様々な規制が緩和傾向の中、いくつ叶えられましたでしょうか…。皆様の願いが届く新年であって欲しいと願っております。

常総生協においては、オンライン（ZOOMミーティング）を併用したり、人数制限をしたりしながらも、対面で交流する機会・活動が増えてきました。その中でも、3年ぶりに、常総生協まつりを本部で開催できたことは、大変喜ばしいことでした。例年とは違い、感染対策を考慮し、規模の縮小、時間短縮、人数制限などのイレギュラーな対応が求められましたが、「楽しみにしてたよ!」と声をかけてくださった組合員の皆様と、ゆったりと会話する時間が生まれ、久々にお会いする生産者の方々と、近況などを伺う事ができました。共に支え合う仲間が集い、時間や空間、想いを共にする、常総生協がつなぐ絆を大事にしていきたいと改めて感じております。さて、「食は生命（いのち）」の理念を追求する上では、「食」を取り巻く環境、社会情勢などにも目を向けなければなりません。新型コロナウイルスの流行やロシアのウクライナ侵攻などは、世界に、日本に、私たちの日々の生活に様々な影響をもたらしています。



忙しい暮らしの中では、一日一日を終える事に精一杯で、気持ちに余裕も持てないことも多々あります。しかしながら、協同の精神を忘れず、共に信頼し、支え合い、助け合いながら、一人一人ができること、常総生協だからできることを一緒に考え歩いていきたいと思えます。今年こそ、喜びと笑顔に満ちた心豊かで平穏な日々がおとずれる事を願うと共に、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(理事長 増本綾子)

## 2023年1月の予定

| ○生協基幹運営/地域活動・催し●                                                                                                        | ○提携・協同・連帯企画●                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○「常総っ子応援団」<br/>毎週木曜日に外遊び活動をしています。<br/>※年明けは1月5日から開放します。<br/>○各地区で「みそ作り講習会」を開催します。(お知らせ別途)</p> <p>1/25 (水) 第7回理事会</p> | <p>1/13(金) 生協NW21経営トップ会議<br/>1/20(金) 生命育む生産者の会 期末監査<br/>1/20(金) 生命育む生産者の会 第4回役員会<br/>1/31(火) 東海第二原発差止訴訟の東京高裁での控訴審、第1回口頭弁論</p> |

## 株式会社丹沢農場さんより新年のご挨拶です

ハム、ソーセージなど畜産加工品を頂いている丹沢農場 代表の松下さんより新年の挨拶が届きましたので掲載します。

### 2023年 新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

昨年4月に創立60周年の養豚会社・海老名畜産と43周年の食肉加工会社・中津ミートが合併し(株)丹沢農場となりました。事業内容が違ふということで指導機関の指示により別法人としましたが、本来は、同じ経営者・同じ資本ですので、この大変厳しい経済情勢・畜産情勢を乗り切るために合併をしました。合併により発展に向けた経営の合理化・近代化そして部門間における人的交流を通じたスタッフのスキルアップ・製造業者としてのレベルアップを実現して信用度の向上を目指します。

大変厳しい畜産情勢の一つとしては、数年前からの豚熱・鶏インフルエンザなどの家畜伝染病の蔓延です。一昨年には、わが農場から200mの地点で豚熱ウィルスを持ったイノシシが捕獲され緊張が走りました。また、中国による世界中からの穀物の爆買いから始まった穀物価格の高騰は、その後、原油価格の高騰によるトウモロコシのバイオ燃料向け需要の増加・異常気象やウクライナ危機・円安などでとどまることなく穀物価格の高騰は常態化しつつあります。飼料米の生産を含めた飼料の国産化は待ったなしの状況です。昨秋より各地のコメ生産者団体と話し合いを進めてきました。今年の秋からは、飼料米を自前で準備を進めるべく各生産者団体と交渉に入っています。

輸入飼料に大きく依存していた日本の畜産の転機を迎えようとしています。今年も全力投球です。

2023年正月元旦

株式会社丹沢農場 代表取締役 松下 憲司

丹沢農場だけでなく、畜産業界全体で大変厳しい状況を迎えています。私たちにできることは、生産者を知り・寄り添い・利用することです。**1月4回のJOSOエールチラシに丹沢農場の特集を掲載**しています。利用する事で生産者を知り、生産者を支えていきましょう！



## 第120回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2022年12月14日(水) Web会議 14時～15時半  
組合員7人参加。Zoomを利用し、Web会議で開催しました。

セシウム測定値、東海第二原発差止訴訟などについて情報交換しました。

- 野生動物やきのこからまだ検出が続いています。意外な所では、干し柿から3桁の値が検出されているものもあり注意が必要です。測って確認しましょう。測定値10年のまとめも進めています。
- 11/1に茨城県の東海第二原発安全対策ワーキングチーム会議が開催されました。今回は生協からの傍聴はありませんでしたが、生協、科学者・技術者の会提出の意見書、どちらも議題にならなかったようです。
- 東海第二原発差止訴訟の東京高裁での控訴審、第1回口頭弁論が来年1月31日になり、その前の1/22(日)14時に東京決起集会を日比谷図書館ホールで行います。また、新たな裁判長に対し忌避(担当から外すこと)も検討しています。

★次回は、2023年2/1(水)14時～15時Web会議の予定です。

Web会議には生協からも参加できます。皆様、よいお年をお迎えください。委員会はどなたでも自由に参加できます。参加希望の場合は常総生協HPの「組合員専用お問い合わせ」フォームから事前にご連絡ください。



## 2022冬 子ども支援プロジェクト

学校給食のない冬休み・・・

# みなさんのあたたかい気持ちをお届けしました！

日々の食事や栄養を学校給食に頼っている子どもたちに食品を届けようとフードバンク茨城さんが主催で取り組んだ「2022冬 子ども支援プロジェクト」。11/28（月）～12/16（金）に行ったフードドライブ（供給便での支援物資回収）、生協本部・戸頭店に設置した「きずなBOX」への支援がトータル食品63.5kg、お米43kgをフードバンク茨城さんへ届けてきました。ご協力ありがとうございました。

生協からは、昨年仕込んだ手作り味噌をパックにして約400パック、非常用に備蓄していた布マスクを大学生、子どもたちにお届けしました。

また、無農薬のお米の生産者の宮城の黒澤さんからは、1kg入りのお米500パックを常総生協に送っていただき、フードバンク茨城水戸支部へ届けてきました。

毎回こうした食糧支援がある度にご協力いただいているフードバンクちばさんからも30kg入りのお米20袋、その他にインスタント食品、アルファ米など多くの食料品をお預かりしてきました。

この多くの支援物資は、「子ども応援プロジェクト・県内のひとり暮らし大学生 食の支援」、守谷市社会福祉協議会主催「もりやもぐもぐ応援バック」、牛久入管の支援活動している団体の食の支援活動など 多くの方にお届けできました。



守谷市社会福祉協議会「もりやもぐもぐ応援バック」



フードバンク茨城水戸支部



カトリック取手教会 マイケル・コールマン神父



「2022冬 子ども応援プロジェクト」箱詰め作業



フードバンクちばさんでの荷積み作業

※今後も定期的に子ども支援プロジェクトに関わっていきますので、引き続きご協力をお願いします。

## 1月の平和の集い活動 市民学習会 「私たちの暮らしと憲法」講座中止のお知らせ

2023年1月3回のNewsletterにて、開催のお知らせをいたしましたが、講師の都合により、しばらくの間、「私たちの暮らしと憲法」講座をお休みいたします。開催が決定しましたら、日程等、改めてお知らせいたします。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



## ♪ みそ作り&みそ開きのお手伝い募集 ♪

～「出張食育講座」が始まります～



常総生協では、地域の幼稚園に出向いて「出張食育講座」を行っています。  
常総生協の食材を使用し、園児が年中さんの時にみそを仕込み、一年後の年長さんでみそ開き。  
「お豆つぶすの～?」「お豆団子できた!」「これがおみそ?!」など、  
園児と保護者の食への興味と率直な感想が私たちを笑顔にしてくれます。  
そのみそでみそ玉を作り、安心・安全な食材を選ぶ大切さ、手作りの楽しさ・美味しさ、  
食への興味や慈しみ、「食は生命(いのち)」を伝え続けています。  
先輩組合員から、子どもたちへ、そして次の世代へ。  
園児のみそ作り&みそ開きを応援して下さる組合員の方をお待ちしております。

**お手伝い内容;みそ作り&みそ玉作りの準備  
(材料の分配、園児の準備手伝いなど)**

**会場:学校法人沼田学園 牛久幼稚園**(牛久市上柏田3-8-3)

**日程;★みそ作り;2/9(木)、2/10(金)、2/13(月)**

**★みそ開き;2/14(火)、2/16(木)**

**時間;9時30分～11時30分ごろ**

**※現地集合、交通費支給**

**※天候(大雪など)、学級閉鎖等で中止の場合あり**



-----きりとり-----

✂切;1/27(金) FAX ;0297-45-6675

○コース・班名 \_\_\_\_\_ ○お名前 \_\_\_\_\_

○組合員番号 \_\_\_\_\_ ○電話番号 \_\_\_\_\_

○参加人数:大人 \_\_\_\_\_ 名

こちらからも申し込みいただけます→



・お手伝いできる日程に○をつけて下さい。

( ) 2月9日(木) みそ作り

( ) 2月10日(金) みそ作り

( ) 2月13日(月) みそ作り

( ) 2月14日(火) みそ開き

( ) 2月16日(木) みそ開き

常総生活協同組合